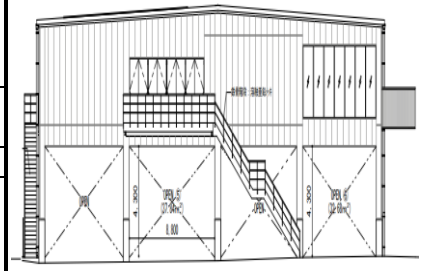


# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コーナンPRO中川四女子店 新築工事	階数	地上2F
建設地	愛知県名古屋市中川区四女子町一丁目6番、7番、8番	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	576 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年4月 竣工	評価の実施日	2026年3月31日
敷地面積	5,311 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	2,112 m <sup>2</sup>	確認日	2026年4月16日
延床面積	4,120 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.9</b> ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p><b>標準計算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①参照値: 100%</li> <li>②建築物の取組み: 81%</li> <li>③上記+②以外のオンサイト手法: 81%</li> <li>④上記+オフサイト手法: 81%</li> </ul> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <b>Q のスコア = 2.7</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア = 2.8</b></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア = 2.9</b></p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> <b>Q3のスコア = 2.5</b></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <b>LR のスコア = 3.1</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア = 2.9</b></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア = 3.2</b></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア = 3.2</b></p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>階高:3.9m以上。 0.1≦[壁長さ比率]&lt;0.3</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>BEIm=0.73</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率が77%。 燃焼機器を使用していない。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)コーナンPRO中川四女子店 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル  
 ■評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>1. 温暖化対策</b>				<b>3.1</b>
LR1	エネルギー	2.9	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
<b>2. 自然共生</b>				<b>2.3</b>
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
<b>3. 循環型社会</b>				<b>3.0</b>
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

## 結果

<b>1. 温暖化対策</b>	評価点 = 3.1
<b>2. 自然共生</b>	評価点 = 2.3
<b>3. 循環型社会</b>	評価点 = 3.0

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。